

マレーシアKL LOT10 The Japan Store 販売促進活動

日本青果物輸出促進協議会



マレーシアでの販売促進活動 1

今回は、初めてのエリアでの販売促進活動となるマレーシアである

クアラルンプールのLOT10内の伊勢丹The Japan Store

10月27日より11月15日までの20日間

香港やシンガポールではある程度の経験値はあるつもりだが、マレーシアに関しては情報も少ない中での手さぐりな状況

リニューアルし綺麗な店内は食品フロアとは思えない作り込みである

販売品目としては、フジを始めとしたリンゴ類とサツマを数種類

最終のブドウなどがメイン。

メインディスプレイの
リンゴと甘藷（右）
シャインマスカット
を始めとしたブドウ（左）



マレーシアでの販売促進活動2

国は変わっても、販売点数が伸びるのはやはりさつま芋。

ベトナム産が主力のマーケットだが、焼き芋での試食を行うと味の違いをご理解頂き4人に1人が購入するペースで売れて行く。

素材の美味しさを伝える為、焼き芋で販売を行う商品と、加工し更なる旨味を伝える事で品種の特性を伝えての試食販売。

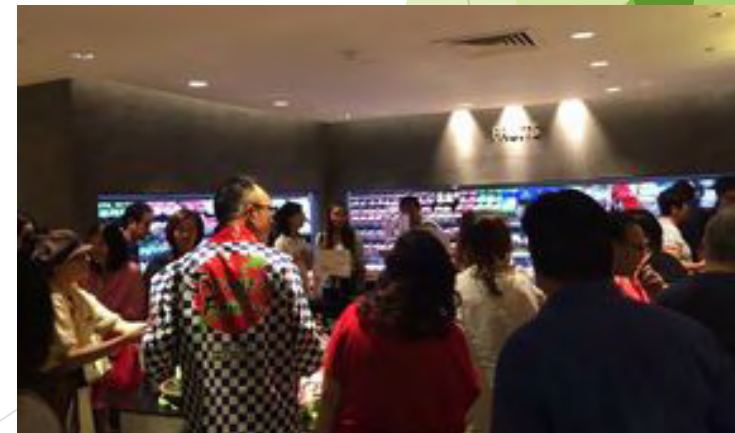
大学芋には紅アズマと鳴門金時を使用し、ホクホク感の食感を焼き芋には安納芋、紅はるか、シルクスweetでしっとり感を試食前と試食後のお客様の反応が見てすぐに分かるほど美味しい顔びっくりした顔で、商品を手にして頂ける。

サイズはすぐに調理が出来る様にMサイズとSサイズを選定
輸送コストと着荷ロスで販売単価が大きくぶれるのもこの商材のデメリットだが、この時期は状態は非常に良く扱いやすい



焼き芋の試食販売（上）

大学芋の試食販売（下）



マレーシアでの販売促進活動 3

リンゴは中国を始めとした競合が多い商材だが、品種の豊富さが表現出来る時期で、お客様の興味を引く事が出来る。

シナノスイート、秋映、つがる、トキとこの季節のみの素材

そして定番のフジ お客様の認知度はやはりフジだが

違う商品を試食し伝えてみると、食感のしっかりした物が好ましく

ジョナゴールドの受けが非常に良かった。

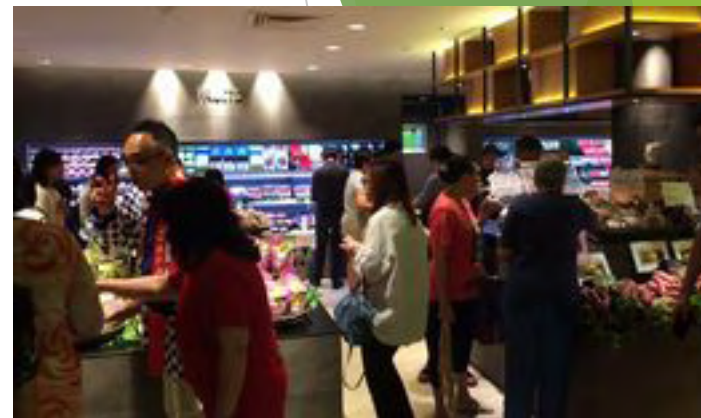
色々販売促進をしているが、ここまでリンゴの品種を持ち込み

しお客様の反応を見られた事は十分に収穫となった。

まだまだお客様に伝えられていないのが実情で、しっかりと日本の

生鮮品の特徴、本来の味、季節を伝えて行かなければならない。

価格だけでの選択では無く、商品に対しての適正価値を理解頂く事に努めたい。



りんご各種の試食（上）

りんごの品種説明（下）

